

駅へのアクセス向上を図ります！

5月31日（火）、
東武アーバンパークライン 岩槻駅 橋上駅舎を使用開始
 ～5月24日（火）から、東西自由通路も使用開始します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、さいたま市のご支援をいただき、2012年6月より東武アーバンパークライン 岩槻駅舎の橋上化を進めていましたが、2016年5月31日（火）に使用を開始します。また、これに先立ち、5月24日（火）から、東西自由通路の一部について使用を開始します。

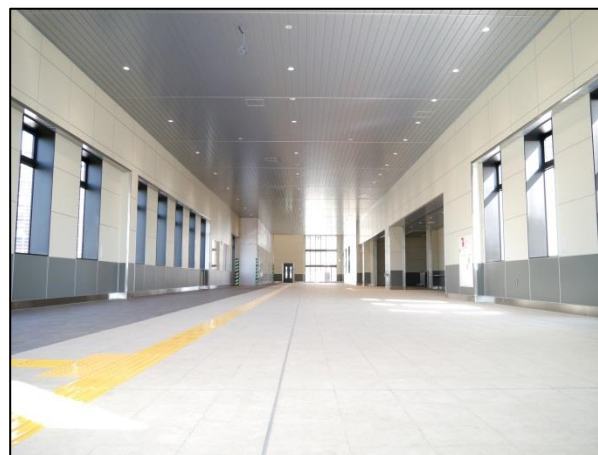
これは、「東武グループ中期経営計画 2014～2016」における質の高い輸送サービスの提供の一環として推進するものです。東西自由通路および橋上駅舎の使用開始により、これまで改札口の無かった駅西口からのアクセス向上が図られるほか、東西の行き来が大変便利になり、多くのお客さまにご利用いただきやすい駅施設となります。また、橋上駅舎化に合わせ、エレベーターやエスカレーターを設置を進め、利便性がさらに向上します。なお、外装については、和風建築の特徴の一つである「白壁」のイメージを取り入れ、モノトーン調の落ち着いたデザインとなっています。

今後も沿線自治体のご支援をいただきながら、ご利用されるお客さまの利便性向上を図っていきます。概要は別紙のとおりです。

以上



△岩槻駅東口 新駅舎（外観）



△岩槻駅 東西自由通路（内観）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

東武アーバンパークライン 岩槻駅 橋上駅舎の概要について

- 1 使用開始日時 2016年5月31日（火）始発から
※東西自由通路は5月24日（火）12時から
- 2 所在地 埼玉県さいたま市岩槻区本町1-1-1
- 3 延べ床面積 1006.14㎡
※東西自由通路含む延べ床面積 2583.76㎡
- 4 構造規模他 鉄骨造 2階建て
(駅事務室、旅客用(男・女・多機能)トイレ他)
- 5 設計会社 東日本総合計画株式会社
- 6 施工会社 東武谷内田建設株式会社
- 7 駅開業日 1929（昭和4）年11月17日
- 8 橋上駅舎

和風建築の特徴の一つである「白壁」のイメージを取り入れ、瓦調の美しい屋根ラインも強調されているデザインとなっています。



△岩槻駅西口 新駅舎（外観）

以上

<参 考>

岩槻駅の駅名由来について

「巖(いわお)をもって築けるがごとき城」という意味から起こり、古くは「岩付」「岩築」の文字が用いられました。「岩槻」となったのは宝暦明和の頃からで、また一説によると、当地には「久伊豆神社」があるところから、神を祭った土地の意味とも言われています。1929（昭和4）年に「岩槻町駅」として開設、1939（昭和14）年から「岩槻」の駅名になりました。



△従来の駅舎

以上